中ニ上諸事取斗可申候

一 当方先達而別段之儀ハ、右庄蔵方ゟ出府仕度

無拠所通御取扱被下置候様ニ御座候得共、宥免

出入ニ候得者扱人共ニ仕度候而当方ゟ願出申候

共ニ又当方ゟ済口之上願書差上候処、御内済仕度

段々被仰付、双方御下知ニ付別段済口証文

差上申候

前条之通相済取扱人共ニ御預り之上、和融内済仕

候御慈悲之趣被仰付、当寺御差上右御内済ニ付相済

遠慮候処右一件御下知之通被仰付候、中上

此段以済口証文引取、扱人共一統ニ相済申候

済口証文仍而如件

宝暦十一年巳二月

上利根川郡前原村
名主
前人 庄蔵

同村名主
忠兵衛

同郡同所市之丞村
名主
扱人 源右衛門

同所
同郡同所東原村
名主
弥五兵衛

同所
同郡同所常木原村
名主
権右衛門

同所
三分一町四丁目
上利根
甚之丞

同所
松本町四丁目
上利根
吉郎内

同所
本郷八丁目
名主
吉兵衛

同所
同所
三分一町四丁目
保科郡
久右衛門

保科越前守様

御役所